

6月30日 の海外相場

COMEX/NYMEX (\$)		Gold (Dec)		Silver (Dec)		Platinum (Oct)		Palladium (Dec)	
Open		4,101.1		58.680		1,611.4		1,223.5	
High		4,102.9		59.125		1,635.0		1,239.5	
Low		4,012.0		57.540		1,570.5		1,202.5	
Settlement		4,038.9		58.175		1,582.8		1,221.9	
Change		-57.4		-1.049		-55.4		1.5	
EFP		\$13.50	\$15.00	-¢ 0.50	¢ 0.50	\$8.00	\$9.50	-\$5.00	\$10.00

Fixing Prices

LBMA/LPPM Fixing (\$)		AM	PM
Gold		4,016.70	4,026.05
Silver		58.795	-
Platinum		1,575.00	1,567.00
Palladium		1,232.00	1,220.00

コメント

Precious Metal

金：横ばい 銀：横ばい プラチナ：下落 パラジウム：小幅下落

金銀市場は方向感に欠ける展開となった。米JOLTS求人数が市場予想を上回り、米労働市場の底堅さが改めて確認されたことで、ドル高と米長期金利の上昇が重しとなった。一方で、インフレ懸念が完全には後退していないことから下値も限定的となり、売り買いが交錯する展開となった。金は日本時間に4,020ドル付近で始まり、一時3,940ドル近辺まで下落した後、欧州・欧米時間にかけて4,060ドル付近まで反発したものの、最終的には4,010ドル近辺まで押し戻された。銀も58ドル台から56ドル台まで下落した後、一時60ドル付近まで持ち直し、足元では58ドル近辺で推移した。プラチナ市場は下落した。ドル高や米金利上昇を背景に貴金属セクター全体に売りが広がる中、プラチナも軟調な推移となった。一方で、米景気の底堅さを示す経済指標を受け、工業用途需要への期待が相場を下支えする場面も見られ、下値は限定的だった。

FX

ドル円：上昇 ユーロドル：横ばい

為替市場ではドル買いが優勢となった。ドル円は続伸し、5月米JOLTS求人数が市場予想を上回ったことを受けて一時162.67円まで上昇し、1986年12月以来の高値を更新した。日本の財政悪化懸念や日銀の早期利上げ観測後退も円売り材料となったが、政府・日銀による為替介入への警戒感から上昇ペースは緩やかだった。

ユーロドルは横ばい。月末・四半期末のロンドンフィクシングに絡むドル売りを受けて一時1.1437ドルまで上昇したものの、その後は米長期金利の上昇が重しとなり、1.14ドル台前半で方向感に欠ける推移となった。

ドル円：162.55ユーロドル：1.1422

6月29日 週の経済指標一覧

		06/29 (月)	06/30 (火)	07/01 (水)	07/02 (木)	07/03 (金)
Americas	前	予	前	前	前	前
	予	前	予	予	予	予
	前	予	前	前	前	前
	予	前	予	予	予	予
	前	予	前	前	前	前
	予	前	予	予	予	予
APAC	前	予	前	前	前	前
	予	前	予	予	予	予
	前	予	前	前	前	前
EMEA	前	予	前	前	前	前
	予	前	予	予	予	予
	前	予	前	前	前	前

Source: みんかぶ

COMEX/NYMEX 投機的建玉

2026/6/23	Gold (Mil oz)	Silver (Mil oz)	Platinum (koz)	Palladium (koz)
Long	25.0	301.7	1,598.1	948.4
Short	5.6	102.7	667.9	1,233.6
Net	19.4	199.0	930.3	-285.2
Change	-0.9	-18.4	-189.1	-120.1

Source: CFTC

他社への転送・転用 堅くお断りいたします。

当資料は、信頼できると判断した情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性を保障するものではありません。当資料はお客様のお取引判断の参考となる情報提供を目的としており、弊社は、この情報の使用結果について一切責任を負いません。